

	発表	団体名	事業概要	区分
1	10:16～10:28	松山北中島分校 ～なかじま移住推進課～	<b>中島のチェンジメイカーに俺はなる！ ～世は大VR時代～</b> 「中島VRツアー」を活用し、中島の魅力を手軽に味わってもらい、観光客の増加につなげる。観光客が増加することで地域経済の活性化や新たな雇用の創出にもつながる。また、中島の魅力をより多くの人に発信することで、移住や定住を促進することができる。移住や定住によって、人口減少の問題を解消し、地域の活性化、人材確保、地域社会への参加などの効果が期待できる。	高校生
2	10:29～10:41	松山学院高校 山や畑の再生プロジェクト	<b>山や畑の再生プロジェクト</b> ～山に花桃の里を作ろう～ ～畑にフジバカマの里を作ろう～ 高校生と地域住民が一体となって、荒れた山や畑の再生に取り組み、地域社会を活性化させたい。 具体的には、山に花桃を植えて、畑にフジバカマを植えて、地域住民にやすらぎの空間を提供することで、地域住民を笑顔で元気にしたい。	高校生
3	10:42～10:54	みくす ベじたぶう	<b>野菜に魔法をかけましょう！ 野菜のお菓子でハッピーに！</b> 保育実習や保育学科の講義で野菜が苦手な子どもが多く、保護者や保育士が苦手意識をなくす工夫をしているがなかなか改善しないことを知った。 そこで、私たちは、旬の野菜をつかって、子どもが喜ぶお菓子をつくり、少しでも野菜を好きになってもらいたいと考えました。また、保護者と子どもと一緒に楽しめる、野菜のお菓子のレシピ本を作成し、配布したいと思います。 お菓子やレシピ本の配布イベントでは、絵本の読み聞かせや手遊び歌などを行い、子育て中の親子が交流する機会を作ることで、子育てに悩む保護者の方にホッとすると同時に時を持ってもらえるのではないかと考えます。	大学生

休憩(5分)

4	10:59～11:11	和らいづ	<b>ヒーリング・ケア・ツアー</b> アフターコロナとなり、コロナ前の生活が少しずつ戻ってきていますが、地域の方と話をすることで、日々の生活や健康に対してまだまだ不安があると感じている方が多くいらっしゃることを知りました。 そこで、医学や社会福祉を学ぶ学生としてお琴の演奏や健康に関する紙芝居を通して、地域の方がホッと一息つけるような癒しの場をつくりたいと考えました。お琴の演奏や、健康に関する楽しい紙芝居を行うことで、地域や施設の方々にも心も体も元気になってもらえるのではないかと考えます。 また、地域医療を目指す医学生や社会福祉の学生として、地域の方々と交流し、地域医療・福祉の課題について考えることで、今後のまちづくりに貢献することができると思います。	大学生
5	11:12～11:24	エコな牛肉うどん屋さん	<b>エコな牛肉うどん屋さん</b> 私たちは、おいしい牛肉うどん屋さんをしたいと思います。具体的には、たくさんのトッピングをフードロスのものでつくる、SDGsを意識したお店にしたいです。どんどん食品が廃棄されているのが、もったいないと思ったからです。 また、キッズスペースを作り、誰でも気軽にお店に来てもらい、ただ食べるだけのお店ではなくて、食品ロス問題について知ってもらうお店を小学生で作りたいと思います。 メニューにはアレルギー表示をし、アレルギーを持っている方でも安心して食べられるように準備します。	小学生
6	11:25～11:37	愛媛の魅力広げ隊	<b>愛媛の魅力広げ隊</b> 私たちは、コロナ禍の中、高校生活を過ごしました。行動が大幅に制限される中で、ふと自分たち自身が地元の魅力を知らないことに気が付きました。今後、行動制限が緩和され、県外に出て行ったり、観光客が来たりします。そういった人の方が松山を客観的に見ることができ、地元の魅力の再発見や地域の課題の発見ができるのではないかと考えます。また、妊婦さんや高齢者など、引き続き自由な移動がままならない人にとって、地元で過ごす素晴らしさを再発見してもらえるような機会を提供したいと思いました。 そこで、地元の魅力を県外や観光客の人たちの情報を参考に作るサイトを作成し、情報を発信します。また、そういった情報を参考に、まちづくりについて考える場づくりを行います。	大学生

休憩(5分)

7	11:42~11:54	NPOこども議会	<p><b>みんなでチャレンジ！対話と意見表明</b></p> <p>私たちはこども議会の活動を「対話的な手法」を用いながら行いたいと考えています。対話的な手法は、よのなかの「答えのない課題」に対し、「対話をしながら合意形成を目指す過程を通して自分なりの答えである納得解をつくる」ことができます。私たちはこの手法を地域課題に応用し、地域と学校の学びの連携を深め、世代を超えて対話しながら考え、よのなか課題に対し自分の納得解をつくる機会を作りたいと思います。</p> <p>日本財団の2022年の調査では、日本の若者は諸外国の若者と比較し、社会への関心度が低いことがわかっています。そういった課題解決の一助になるような活動にしていきたいと考えています。</p>	大学生
8	11:55~12:07	モザンビークSDGs勉強会	<p><b>フェアトレード普及啓発事業</b></p> <p>①ユースが中心となって「フェアトレード勉強会」を開催することにより、ユースや一般市民へのフェアトレードの理解が広がる。</p> <p>②クリエイティブなデザイン・企画に関心のあるユースを募り、松山発・フェアトレードデザイン(商品・写真・物語・動画など)をBridge of friendshipや松山北高校モザンビーク班などと連携して一緒にチャレンジすることで、ユースのフェアトレード・ネットワークができ、街の活性化に寄与できる。</p> <p>③SDGs目標「4.質の高い教育をみんなに」、「5.ジェンダー平等の実現」、「9.産業と技術革新の基盤づくり」、「17.パートナーシップで目標達成」の達成につながる。</p>	大学生
9	12:08~12:20	人間環境大学総合心理学部 総合心理学科学生会サークル	<p><b>武器アトリエ</b></p> <p>私たちは人間環境大学の総合心理学部の学生会サークルです。本サークルでは大学に市民が集えるように大学祭の在り方を現在議論しています。そこで今年度は企画のうちの一つに武器アトリエを考えています。</p> <p>現在2年以上にわたるロシアによるウクライナへの侵攻が行われていますが、戦争や平和に対する意識は日々低くなっているように感じます。かつてモザンビーク内戦で使用された武器を壊し、作品の素材として活用する「武器アート」を知って、体験できるワークショップを特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク様と協力して大学祭で行うことを企画することにしました。</p> <p>さらに、作成した武器アートを今後の松山市平和資料展でも展示することで、より多くの方が戦争や平和について考えるきっかけ作りを行います。そのために今年の平和資料展で平和と武器アートについて学びを深めます。</p> <p>この活動により、松山の市民のみなさまが、大学に集い、総合心理学部の学生と教員との交流を深めることができれば、松山市がより元気になると思います。</p>	大学生